



元気なまちを
あなたとつくる広報紙

SHINTOKU TOWN
<http://www.shintoku-town.jp/>

November 2016
(平成 28 年)
Since 1950
No.720

10月12日 新得保育所総合避難訓練
消防車の前でハッピを羽織ってポーズ！

特集

新得町は元気です

「復興しんとく新そば屋台村」「がんばろう！新得 くったり軽トラ市まつり」

功績をたたえて





美味しい物を食べて欲しい。

催ではありましたが町内外から約3500人が来場され、新そばに舌鼓を打ちました。屈足さわやかホールで開催された「がんばろう！新得くったり軽トラ市まつり」は、約300人が来場し、地場産の新鮮野菜やお買い得品を買い求める人のほか、生バンド演奏で歌ったり、抽選会なども行われ、会場内は賑わいを見せていました。

また、このほかにも、地域おこし協力隊などによる復興支援の取り組みが行われる予定となっており、様々な人達が「まち」を元気にしようとしています。

がんばろう！新得 くったり軽トラ市まつり



笑顔を見たい。



元気です



例年開催している新そば祭りに協力していただいている自衛隊鹿追駐屯地のみなさんには、そば博開催の際にご協力をいただき「復興しんとく新そば屋台村」に支援要請をいたしました。また、断水時の給水支援など、多くの支援をいただいていたことから「復興しんとく新そば屋台村」に支援要請をいたしました。今年も給湯支援の協力をいただきました。

また、平成24年12月に新得町の知名度向上、移住促進事業の推進、人材育成等様々な面において協働事業を実施するなど、町の活性化を図ることを目的として、町と包括連携協定を締結している東京中日企業株式会社（東京都）の社員5人が、当初は、そば博開催時にボランティアスタッフとして参加する予定でしたが、今回の「新そば屋台村」で改めてボランティアスタッフとして協力をいただきました。

力になりたい。



台風災害から2ヶ月が経ち、町は本来の生活を取り戻しつつありますが、未だ災害の傷跡も多く残っています。そのような中、被害を受けた町民を元気づけようと、町の元気な様子を町内外にアピールしようと10月22日、「復興しんとく新そば屋台村」や同日夕方には「がんばろう！新得 くったり軽トラ市まつり」が開催されました。



元気を届けたい。

復興しんとく新そば屋台村



新得町は



美味しい一杯を届けたい。



新得町版地域包括ケアシステム

長生きしても一人になっても・認知症になっても・障がいがあっても
人生最後まで「新得町」を目指して！
地域ケア会議の推進事業



つながり

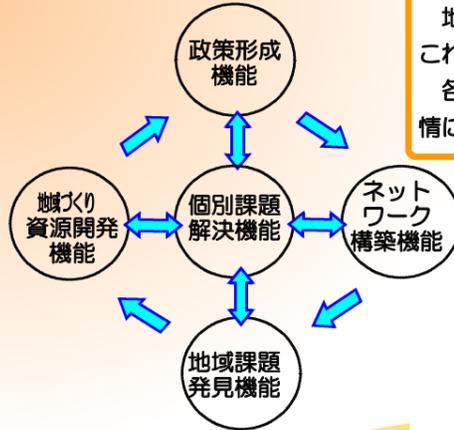


●発行元●
新得町地域包括
支援センターなごみ
保健福祉課在宅支援係
Tel 64-0533
FAX 64-0534

なぜ「地域ケア会議」の推進が必要なのか？

新得町版地域包括ケアシステムの構築が急がれるため、高齢者個人等に対する支援の充実と、それを支える社会基盤(受け皿)の整備を効率的に進める必要があるからです！

地域ケア会議に求められる機能！



地域ケア会議は5つの機能を有します。これらの機能は相互関係し合い、循環しています。各機能が効果的に関連し合うよう、新得町の実情に応じ、各会議等を組み合わせることが必要です。

現在、地域包括支援センターが所管する既存会議等の機能(一部紹介)

個別課題解決・ネットワーク構築・地域課題発見機能を位置つけた「ふれあい支援員」を参集した会議



資源開発・政策形成機能を位置づけ、町内の医師、歯科医、薬剤師、ケアマネジャー等を参集した「新得町地域ケア推進会議」



地域課題発見・資源開発機能を位置つけた「地域包括支援センター運営協議会」

今後の課題

地域包括支援センターが所管し、各機能を位置つけた6つの会議等があります。その各会議が持つ機能を包括し、「個別課題」の把握から「資源開発」が、多くの合意形成のもと図られる環境整備が急務です。

また、今後、生活支援コーディネーターを中心とした「協議体」(話し合いの場)を設置します。

協議体では、今後の地域づくりを左右する、大きな役割を担って頂くことになれます。



被災地を応援したい。



十勝の復興支援ギフトプロジェクト



カタログギフトを手にする神宮司さん、三輪さん(左から)

「被災した新得・清水・芽室を応援するために、自分たちにも何かできないか」という考えに賛同した十勝管内の地域おこし協力隊員などが「十勝復興応援プロジェクト」を結成し、「十勝の復興支援ギフトプロジェクト」を始動させ、被災した町を応援しようとしています。

このプロジェクトは、神宮司さんが以前勤めていた「株地元カンパニー」が展開する「地元ギフト」という仕組みを活用し、3つの町の地域の産品を集めた「十勝の復興支援ギフト」のカタログを作るというものです。

カタログギフトは、本ではなくカード式で、一箱につき10〜15枚程度

商品の企画・開発・生産・流通の度、地元の商品カテゴリーが入り、もたらした人はこの中から好きな商品を一つ選んで、ハガキに書いて送ると自宅に商品が届く仕組みです。

商品づくりに関わる人の対談を裏面に載せていることが特徴で、選べる商品は1つですが、地域で頑張っている様々な人のストーリーを楽しめることができるカタログ



新得町の説明会の様子



事業所を訪問し、プロジェクトを説明

募集しています！

町をPRする動画の作成やインターネットでの町の宣伝などに協力いただけるサポーターを募集しています。クラウドファンディングやサポーターとして協力いただける方は、新得町商工会のフェイスブック (www.facebook.com/YUMEnoarumachidukuri/) に詳細が記載されていますのでご覧ください。新得町地域おこし協力隊三輪昌宏さん(町商工会 64-5324)までお問い合わせください。

ギフトです。売り上げの一部に付いては災害支援金として各町に寄付することです。

三輪さんは「現在、『新得町のギフト』を製作している段階で、10月に各会社や生産者に個別に出品依頼し、出品者やサポーター向けの説明会も開催しました。11月中旬には出品者が決定する予定」と話していました。

カタログギフトを製作する資金は、クラウドファンディング(インターネット上で不特定多数の人から寄付を集めること)で集めており、11月26日まで受け付けています。

功績をたたえて

新得町文化連盟 文化芸術賞

新得町文化連盟（佐々木健会長）が選出する平成28年度の文化芸術賞が決まり、11月3日（屈足）、6日（新得）に開催された町民芸能芸術祭舞台部門の席上で、表彰式が行われました。

感謝

森田桂次さん
（前新得文化連盟会長）

平成16年度から平成21年度まで町文化連盟理事を務められた後、平成22年度からは会長の要職を6年間務められました。

会長在任中は何事にも先頭に立って積極的に取り組まれ、文化連盟並びに町の文化振興に多大なる貢献をされたその功績は誠に大であります。

文化貢献賞

赤池範子さん
（屈足カラオケ愛好会）

昭和56年度の会発足以来、現在まで35年間の長きにわたり事務局として会の活性化と文化の振興にご尽力されており、その功績は誠に大であります。

小関アツ子さん
（新得音頭保存会）

平成14年の会結成と同時に入会後、通算10年間副会長として会の事業推進にご尽力され、この間、会の中心的存在として「新得音頭」を地域に根ざした文化活動として推進された功績は誠に大であります。

武田サヨ子さん
（新得音頭保存会）

平成14年の会結成と同時に入会後、現在まで14年間の長きにわたり管理副部長として会の事業推進にご尽力され、この間、会の中心的存在として「新得音頭」を地域に根ざした文化活動として推進された功績は誠に大であります。

高橋武子さん
（新得音頭保存会）

平成14年の会結成と同時に入会後、平成18年度より現在まで指導副部長、管理副部長及び理事として会の事業推進にご尽力され、この間、会の中心的存在として「新得音頭」を地域に根ざした文化活動として推進された功績は誠に大であります。



左から高橋さん、森田さん、小関さん



左から赤池さん、武田さん

平成28年度 第26回地域安全 標語コンクール

新得町・清水町・鹿追町で構成されている新得地方防犯協会連合会（会長・浜田正利新得町長 主催の第26回防犯地域安全標語コンクールにて、新得町から小中学生あわせて6人が入賞し、10月19日、町公民館で表彰式が行われました。応募総数は、3町15校から933点で、うち入賞は100点でした。

小学生の部

◆銅賞

大槻 さくらさん（屈足南小5年）
「この町の 笑顔と勇気で 防犯を」



中学生の部

◆金賞

橋井 諒さん（新得中3年）
「きげんだよ あそびスマホで 事故多発」



◆佳作

山口 快さん（屈足中3年）
「『これくらい』 軽い気持ちで 重い罪」



◆佳作

上田 有紀音さん（新得中3年）
「犯罪は あなたの心の スキマから」



◆佳作

小林 涼奈さん（屈足中2年）
「大丈夫 思い込みには 危険あり」



◆銅賞

佐藤 くるみさん（新得中3年）
「要注意 犯罪のこぼ SNS」



台風被害に際して

多くのご支援をありがとうございます

これまでの寄付金・義援金総額6206万9112円
総件数937件（10月31日現在。順不同・敬称略）

義援金

ありがとうございます

（町内で被災された方の生活支援や再建のために、被災の程度に応じて直接被災された方にお届けします）

【24万2032円】北海道災害義援金第1次配分
【14万7526円】東日本高速道路(株)代表取締役社長 廣瀬博（東京都）
【10万円】北海道建設業信用保証(株)取締役社長 吉田義一（札幌市）、カシマソフウシニコ
【22万7千円】永祥寺（帯広市）
【12万6357円】ミンマシニコウキン）
【11万5千円】五ヶ瀬町社会福祉協議会（宮崎県）
【10万円】(株)共成 代表取締役 堀田敏（帯広市）、五ヶ瀬町議員互助会（宮崎県）、光塩学園調理製菓専門学校（札幌市）、小坂秀志（東京都）、新得町商工会 女性部部长 森田美恵子（新得町）

【5万円】中嶋弘子（札幌市）、吉川照一（同）、トランス・グループ(株) 代表取締役 市川敏之（東京都）、川瀬光八郎（岐阜県）、トクメイタロウ
【3万円】室蘭フロアカーリング協会（室蘭市）、松宮初代（神奈川県）、北川勲（東京都）、あさみちゆき（有シーニックス）（東京都）、山本信友会（大阪府）、ヨコヤマイクコ、ムラヤマカズヒサ
【2万9310円】日本クラウン戸川よし乃 新曲ライブ参加者一同
【2万3049円】(株)ちだ（北見市）
【2万1292円】くつたり軽トラ市友の会（新得町）
【2万円】佐々木信・エミ子（広島県）、(有)アトスペース（帯広市）、櫻井依子（札幌市）、伊藤俊男（同）、山田義明（同）、桑園幼稚園 月曜献金の会（同）、宇野宣代（小樽市）、大場正直（宮城県）、ヒラノカツヒサ、ハセベテツオ
【1万8千円】アベアツコ

【1万5361円】共働学舎新得農場 ミンタル募金箱
【1万5048円】光塩学園調理製菓専門学校 学生・教職員一同
【1万1637円】近島恵子（東京都）
【1万円】和田竹四郎（札幌市）、杉本真也（同）、池田精充（同）、木村幸子（同）、高倉宏文（同）、土屋雅義（同）、三木勇雄（同）、加藤繁子（東京都）、鷲北洪太（同）、井邑由起子（同）、伊藤多恵子（同）、渋谷信子（同）、田中愛子（長野県）、片山けい子（小樽市）、伊藤テル子（埼玉県）、内田かほる（同）、平井優章（岩見沢市）、伊藤郁子（石狩市）、中川悦子（北広島市）、渡部信司（苫小牧市）、飯田雅恵（神奈川県）、小林久進（同）、大友賢一（同）、宇都保（同）、白川雅信（同）、高橋久子（千葉県）、片嶋厚子（栃木県）、片嶋聖佳（同）、蘇田友紀（帯広市）、田邊信幸（栃木県）、キノノリヒコ、オバラカツヒロ、モリマサル、オカダミドリ、アキヤマトウル、イノコジユネイ、ナカシマヨシユキ、ヤマワキ ヨシエ、オイカワミツヨシ、ハラダトミコ、タナベヨシユキ、匿名の方（広島県）
【7千円】(株)石橋産業 代表取締役 石橋たつ子（札幌市）
【5千円】青柳貴子（埼玉県）、倉

科優（同）、浦西美津子（奈良県）、宮下哲也（神奈川県）、越田和子（札幌市）、杉山紀子（同）、佐藤節子（苫小牧市）、渡辺求（北広島市）、松本利恵（同）、治田美紀（兵庫県）、モリモトミチ子）
【3千円】佐藤鉄也（室蘭市）、藤居和彦（滋賀県）、松田孝子（山形県）、林計司（京都府）、シヨウボウジハル、エンドウ アケミ、ハラモト マリコ、シタ カズミ、ヤスカワアキエ
【2100円】日本海信用金庫三隈支店（島根県）
【2千円】角村智康（兵庫県）、ウチダノブ）
【1千円】角田勝美（札幌市）、可児由香利（岐阜県）、阿守英雄（大阪府）
【62円】メディアステーション（埼玉県）

寄付金

ありがとうございます

（道路の再建など町が行う災害復旧、復興事業の財源として、また用途を指定された場合は、その用途で活用させていただきます）

【20万円】北栄道路(株) 代表取締役 辻恵吾（新得町）

【100万円】電源開発(株)（東京都）、伊藤正敏（神奈川県）、匿名の方
【70万円】公益財団法人イオンフーパーセントクラブ（千葉県）
【54万2371円】北海道のイオングループのお客様（イオン北海道(株)）
【50万円】新栄クリエイト(株) 代表取締役 大西一洋（札幌市）、サッポロホールディングス(株) 代表取締役社長 上條努（東京都）、川岸電設(株) 代表取締役 川岸哲夫（帯広市）、(有)ホテル十勝屋（同）、匿名の方（同）
【30万円】五ヶ瀬町役場職員互助会（宮崎県）
【20万4117円】北海道中学校体育連盟陸上競技専門部（札幌市）
【20万円】公益財団法人 北海道対がん協会 会長 長瀬清 釧路がん検診センター 所長 松浦邦彦（札幌市）
【13万1000円】北海道町村会
【11万1098円】五ヶ瀬中学校
【10万円】大日本プロレス（有）四ツ葉工芸 代表 登坂栄児（神奈川県）、佐久間洋子（宮城県）
【5万124円】クラブメッド北海道（新得町）
【5万円】十勝陸上競技協会（帯広市）
【4万円】社会福祉法人 クピド・フエア（岩見沢市）

【3万円】呉橋真人（滋賀県）
【2万420円】新得元気応援隊 代表 金哲郎
【2万円】笹山浩子・石山節子（札幌市）
【1万9216円】第34回北海道中学校駅伝競走大会
【1万円】日本基督教団 新得教会 婦人会（新得町）、秋山亨（愛知県）、加藤哲夫（埼玉県）、北海道陸上競技協会 会長 岡部壽一（札幌市）、匿名の方（広島県）
【8千円】新得町バスケットボール協会（新得町）
【10万円】角崎邦子（千葉県）、計良淑子（函館市）、匿名の方（札幌市）
【30万円】林俊輔（旭川市）
【20万円】林春美（旭川市）
【10万円】秋山憲一（茨城県）、北嶋正孝（神奈川県）、金村広（札幌市）、森広人（鹿追町）、匿名の方（京都府）、千葉県、神奈川県、大阪府、東京都2人、帯広市2人）
【5万円】高橋真紀子（京都府）、鹿野浩二（埼玉県）、増本正明（同）、森田善晴（新潟県）、篠原秀典（神奈川県）、山本清（同）、藤本真嗣（大阪府） 太田修一（東京都）、田

心をつなぐための緊急寄付分

辺尋子（同）、益川真一（福岡県）、大上博章（兵庫県）、堅田豊（和歌山県）、岡田寿智（札幌市）、安達博昭（同）、高橋啓（旭川市）、匿名の方（愛知県、愛媛県、広島県、埼玉県、三重県、千葉県、東京都2人、帯広市、池田町、小樽市）
【4万円】匿名の方（札幌市）
【3万円】福山つや子（佐賀県）、鈴木次雄（埼玉県）、平野雅己（神奈川県）、平田幸雄（同）、西原隆裕（同）、高橋泰三（東京都）、飯塚耕司（同）、川澄紘一（同）、窪田茂（音更町）、齋藤光貴（帯広市）、長瀬毅彦（札幌市）、石塚博史（千葉県）、匿名の方（神奈川県3人、静岡県、千葉県2人、大阪府、東京都2人、福島県、愛知県、帯広市、札幌市、函館市）
【2万円】藤田晃央（愛知県）、井出宏（同）、一野瀬昌則（茨城県）、藤波速夫（埼玉県）、中塚由実子（新潟県）、林伊吹（大阪府）、黒子千恵（東京都）、富樫博子（同）、浅井勝（同）、小野雅央（同）、小畑忍（同）、加藤淳一（同）、渋谷久美子（同）、植村昭男（福岡県）、豊田中（兵庫県）、羽柴俊昭（神奈川県）、杉山範子（岐阜県）、石岡洋（江別市）、梅本收（釧路町）、坂東伸幸（帯広市）、匿名の方（愛知県、埼玉県、神奈川県2人、千葉県、大阪府、東京都、兵庫県、

札幌市2人、帯広市）
【1万8千円】カトリック日生中央教会（兵庫県）
【1万5千円】田村政芳（愛知県）、辻内剛（留萌市）、匿名の方（東京都）
【1万円】柴田恒洋（愛知県）、柿元純（同）、佐野由典（同）、岡本延明（茨城県）、中村愛（同）、薮橋久里（同）、坪井敬子（広島県）、横田春江（香川県）、土山嘉久（香川県）、原敦子（埼玉県）、山田真由美（同）、是川秀治（同）、浦地暢（同）、木村さゆり（同）、桂川紘一（同）、加藤秀男（同）、福田幸之助（三重県）、森谷賢司（山形県）、河内恵介（山梨県）、中川知博（滋賀県）、玉川久美（同）、高橋正人（秋田県）、伊藤千代治（同）、本間誠二（新潟県）、久芳靖（神奈川県）、桜田貴男（同）、菅野裕一（同）、林正真（同）、辻智子（同）、青柳憲昌（同）、猪野昭一（同）、橋本隆之（同）、牛尾知弘（同）、又吉勝男（同）、佐藤吉英（同）、坂井由希子（同）、八木美知子（同）、柴田豊（同）、山田耕治（静岡県）、山本紗矢（石川県）、木村成紀（千葉県）、小川照夫（同）、野本和秀（同）、谷津隆之（同）、青木叙（同）、鈴木猛（同）、蝦名裕（同）、江波戸勝（同）、田村克彦（大阪府）、

※4月以降にまちづくりレターでいただいたご意見などを掲載しています

●民間賃貸住宅入居中の町内会未加入世帯への広報紙の配布方法について

賃貸住宅が30戸を超えた今、町内会加入は30%台で、未加入者への配布について、ネット配信はあるとはいえず、行政サービスの一つとしての広報紙を配布しないということにはならないのではないか。

(70歳代・男性)

お答えします

広報紙の配布について、町内会加入世帯については、各町内会の会長または広報配布担当の方から配布をしていただいております。未加入世帯についてはインターネットで閲覧するか、役場や屈足支所、子供センターなど、温水处理センターなどで閲覧もしくは入手できますが、未加入世帯が町広報紙を手軽に入手できるようにコンビニなどに置くことができるか検討します。

(地域戦略室広報広聴係)

豊村仁(同)、福田房夫(同)、今村務(新得町)、奥山光(音更町)、重森健一(札幌市)、金山文義(同)、青野智子(同)、宮本達也(同)、辻内理沙(留萌市)、賀陽弥生子(帯広市)、匿名の方(愛知県2人、岡山県、岐阜県、宮城県、山形県、埼玉県2人、滋賀県2人、神奈川県、青森県、静岡県、石川県、千葉県2人、大阪府2人、東京都17人、福岡県2人、兵庫県、岩見沢市、札幌市10人、千歳市、稚内市2人、小樽市)
【4千円】匿名の方(神奈川県)
【3千円】矢田宏(埼玉県)、斉藤美幸(千葉県)、飯田真由美(札幌市)、武田悦子(東京都)
【2500円】大平信裕(東京都)
【2千円】吉田健一(茨城県)、伊藤光晴(神奈川県)、杉村ゆかり(札幌市)、平野京子(同)、匿名の方(小樽市、鹿児島県、兵庫県)
【1千円】渡部裕和(埼玉県)、寒川宏之(大阪府)、木村元(札幌市)、匿名の方(東京都)
【他、掲載を希望されない方163人】
※銀行振り込みされた場合、氏名のカタカナ表記や、氏名の途中で切れている場合もありますことをご了承願います。



●「町づくり大会」の実施について

「町長室が「こんにちは」を町長と住民の数少ない接点のひとつとして拝読しています。8月号では「入口論」が掲載されていましたが私が関心を持っているのは「途中論」です。出口は議会の承認・議決なのですが町民はどのようにしてその決まったのかわからないまま結果だけが報告されている気がするのです。

広報7月号の「ボイス」で寄せられた意見「町民に対して説明が必要な計画については詳細に説明しないと内容は伝わらない町づくりに繋がらない」はそのことを指摘した町民の声だと思えます。何年間も開催休止されている「町づくり大会」の内容を再検討し、実施されることを強く望みます。

(70歳代・男性)

お答えします

「まちづくり大会」につきましては、昭和48年に第1回大会を開催し、町民憲章推進協議会発足以降は、同協議会が母体となり実行委員会方式で毎年開催してまいりました。平成8年度から平成12年度までは「ふれあい健康まつり」との共催となり、それを機会に「まちづくり大会」

検討委員会」を設置し、今後の「まちづくり大会」のあり方について協議を重ねました。その後、様々な方の意見を聞いた中で、平成23年度の第40回をもって休止した経過があります。今後、各団体等の意見を聞いた上で、町民のみなさんの「まちづくり大会」が必要との高まりがあれば、開催を検討します。

(町民課住民活動係)

●防災無線について

以前住んでいた所では住民票を届けた時点で役場より防災無線の機器を貸与され(転出時返納、すぐく安心して暮らすことができま

現在新得町に移住して未だ6年と新参者ですが、いまだに巡回広報車の文言が聞き取れません。特に夜間などは皆無に等しいかぎりです。今回の台風に依る災害避難勧告も携帯電話にて知り得たものであり、断水に関してはホームページにて知り得たものでした。

今、防災無線機器は簡素化、多様化されていると思います。財政上の問題もあると思いますが、住民の安全確保を第一と考えていただき、行政上ご検討願えれば幸いです。

(60歳代・男性)

お答えします

このたびの台風による避難勧告等の際、広報車の声が聞き取れなかったなど、不備があったことにお詫の申し上げます。

本町の防災計画における避難勧告等の伝達方法につきましては、広報車、町ホームページをはじめ、町内会長への連絡や緊急エリアメールによるものと定めております。

その上で、情報の伝達方法については、町民誰もがわかる方法での情報発信の必要性など、様々なご意見をいただいております。提案いただいた防災無線も一つの検討材料だと考えていますが、ご指摘のとおり財政上の課題もあります。

いずれにしましても、今回の災害に関する初期対応も含め、あらためて検証する場を設け、今後の対応に備えていく必要がありますので、その中で検討させていただきます。

(総務課庶務防災係)

●図書館へのDVD視聴設備の設置について

図書館をよく利用しています。子どもの絵本がたくさんあること、リクエストした本がすばやく用意してもらえること、とても利用しやすい良い図書館だと思います。

(社会教育課社会教育係)

そこで、一層増やしてもらえるところ、DVDが鑑賞できるようにしてほしいということ。子どもがDVDを観ている間に私はゆとり本を探ることができて、とても助かります。更に貸出し可であれば尚つれいいます。

ぜひ、検討していただきたいと思えます。よろしくお願います。

(30歳代・女性)

お答えします

新得町図書館では、過去にAVコーナー(4ブース)の設置を検討しましたが、そのためには児童書を置いていく書架の撤去が必要となるため、蔵書の充実という観点から見送った経緯があります。その後、各家庭にDVDプレイヤーなどの視聴覚メディアが普及したことから、当館ではアニメ等の視聴覚資料よりも、引き続き図書の実に重点を置いております。お子様連れでゆとり本を探したいときなどは、職員が絵本コーナーで読み聞かせを行うなどの対応をしておりますので、お気軽にお声がけください。

台風災害の影響により9月24日から順延された「輝一夜 新得花火大会（実行委員会主催）」が10月10日、佐幌川公園を打ち上げ場所として開催されました。時折冷たい風が吹く肌寒い気温でしたが、観覧場所の町営球場には約2300人の観客が訪れ、晩秋の夜空を彩る華やかな花火に歓声をあげていました。打ち上げ花火は、昨年よりも300発多い4500発で、西十勝最大規模の花火が打ち上げられました。スクリーンに映し出された町内の子供らがカウントダウンを開始し、打ち上げがスタート。3部構成のプログラムで約1時間にわたって花火が打ち上げられ、ランドフィナーレの大スターマインでは、華々しく花火が打ち上がり観衆を魅了しました。会場には生ビールやお好み焼き、焼きそばなどが出店



プロレスラー同士、一勝負する場面も



協定書を手にする高田署長（写真左）と浜田町長

災害になんて負けてられない！ 夜空が輝いた一夜 百花繚乱の4500発 「輝一夜（かがやきひとよ）」新得花火大会

台風災害の影響により9月24日から順延された「輝一夜 新得花火大会（実行委員会主催）」が10月10日、佐幌川公園を打ち上げ場所として開催されました。時折冷たい風が吹く肌寒い気温でしたが、観覧場所の町営球場には約2300人の観客が訪れ、晩秋の夜空を彩る華やかな花火に歓声をあげていました。打ち上げ花火は、昨年よりも300発多い4500発で、西十勝最大規模の花火が打ち上げられました。スクリーンに映し出された町内の子供らがカウントダウンを開始し、打ち上げがスタート。3部構成のプログラムで約1時間にわたって花火が打ち上げられ、ランドフィナーレの大スターマインでは、華々しく花火が打ち上がり観衆を魅了しました。会場には生ビールやお好み焼き、焼きそばなどが出店

し賑わっていたほか、打ち上げ前にはマジックショーや町内の幼稚園、保育所（園）、小・中学生の子供たちの顔写真が会場の特設スクリーンに映し出されるなどの催しが行われました。

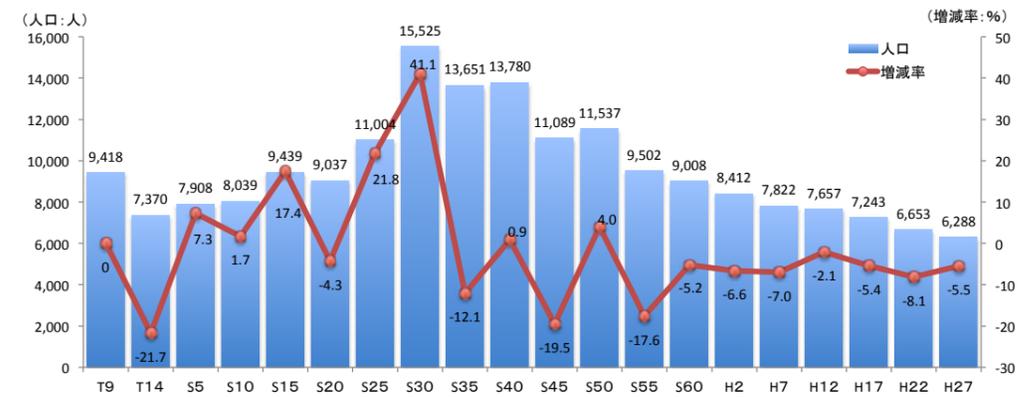
新得町の総人口6288人 前回調査時より365人の減少 2015国勢調査の確報値が公表される

平成27年10月1日現在で行われた国勢調査の確報値が公表されました。新得町の総人口は6288人と、前回の調査が行われた平成22年と比べ365人の減少となり、減少率はマイナスイラスト5.5%となりました。人口減少に歯止めがかからないという結果になりましたが、減少率で比較すると、平成17年から平成22年までが8.1%で、平成22年から平成27年までが5.5%となっており、人口減少のスピードがやや抑制されました。

新得町の人口は下記グラフからわかるように、国勢調査が始まった大正9年から昭和30年にかけては増加しましたが、この年をピークに人口減少が始まり、昭和50年からは増加することなく減少の一途をたどっています。人口減少の要因とされるのが、国鉄の分割民営化、営林署の統廃合等による労働者やその家族の減少が大きく起因し、それらに関連する工業人口の減少、離農による農業人口の減少、ダムなどの大型公共事業の終了、そして若年層の町外流出といった社会要因が大きいと言えます。

一方、近年においては自然要因も大きく関係しています。今回の調査では15歳未満の年少人口が664人にに対し、65歳以上の老年人口が2183人と、年少人口の約3倍となりました。また、15歳から64歳の生産年齢人口は3441人であり、典型的な少子高齢化を描いています。この少子高齢化については、平成22年調査と平成27年調査を比較すると、年少人口の29人減少に対し、老年人口が71人増加し、この5年間で少子高齢化が進行している結果となりました。深刻化する人口減少ですが、北海道全体に目を向けても、その進行は著しいといえます。平成22年調査からの人口減少率10%以上の地域は渡島地方、檜山地方、後志地方の沿岸部や留萌地方、また空知地方東部に集中して見られます。一方、道内で人口が増加しているのが、札幌市、恵庭市、千歳市、帯広市、幕別町、東川町、東神楽町の7市町となりました。十勝地方に焦点を当てると、人口が増加した帯広市と幕別町に加え、その周辺7町村で5%未満の減少、新

国勢調査による人口の推移



得町を含む8町村で5〜10%の減少と地方よりも減少率が低い結果となりました。

総額1億1千万円 町商工会がプレミアム付き商品券を発売し、すでに完売

町商工会（湯浅悟史会長）は10月20日、10%のプレミアム付き商品券を発売。総額は、プレミアム分を含めて1億1千万円で、1セット1万円の1万セットを用意。9時の販売開始前から商工会の入り口前には、いち早く商品券を手に入れようと列ができており、10月28日（金）に完売となりました。商品券は町内の商工会会員全店で使用できるほか、JA新得町の各店舗・事業所でも使用できます。なお、商品券の使用期限は、平成28年10月20日（木）〜平成29年3月15日（水）までとなっています。



犯罪など起きにくい まちづくりを目指す 町が新得警察署と「防犯カメラ運用」で協定締結

町と新得警察署は10月19日、役場で「防犯カメラ運用に関する協定」を浜田正利町長と高田重栄署長が出席し調印式が行われました。協定の締結により、町で今年設置した防犯カメラの情報を犯罪や交通事故などが発生した際に、警察からの要請により情報提供をし、事件・事故の早期解決が図られることが期待されます。

浜田町長は「犯罪や事故の抑止力を含めて安心感が高まる」と話し、高田署長は「カメラが設置され町民の安心安全に有用だが、できるだけ使わないように、パトロールにも力を入れていく」と話していました。



人形劇や英語の歌遊びに大はしゃぎ

「スキップ」スペシャルおはなし会

図書館ボランティア「スキップ」のスペシャルおはなし会が10月29日、町図書館で行われ、子どもら50人が参加しました。

いつもは絵本の読み聞かせだけが行われていますが、今回は人形劇『メリーさんの羊』やALTのゲームによる英語の歌遊び『ロンドン橋落ちた』なども行われ、子ども達は歌遊びでは大はしゃぎし、本の読み聞かせや紙芝居となると集中して話に聞き入っていました。

親子で楽しむ音楽のひととき

親子で遊ぼう音楽セラピー

0歳児～2歳児の子とその保護者を対象とした「親子で遊ぼう音楽セラピー」が10月25日、子どもセンターなかよしで開かれ、親子12組が参加。「音楽セラピー樹音」の村井孝子代表ら3人から様々な歌や楽器を使って親子で楽しめる遊びを教わりました。

「どんぐりころころ」や「夕焼け小焼け」の歌に合わせて手足を動かしたり、「おもちゃのチャチャチャ」に合わせて鈴を鳴らしてみたりなど、歌に音楽に親子で最後まで楽しみました。



接戦が繰り広げられたラムネ早飲み大会



大勢が並んだ野菜の詰め放題

うまいものとイベントを楽しむ

第43回大雪まつり

第43回大雪まつりが10月9日、屈足公園で開かれました。

例年行われている大人気の野菜詰め放題には、開始前から長蛇の列ができており、参加者は袋いっぱいにかぼちゃ、じゃがいも、にんじんを詰め込んでいました。参加者はどう料理しようか考えながら笑顔で会場を後にしました。

会場の中では、アトラクションとして巨大すべり台、岩佐彰 with ♪ super sessionのライブもあり、ステージでは、ラムネの早飲み大会と松坂まり子さんの演歌歌謡ショー、onちゃんのおはよう体操が行われました。ラムネの早飲みには、小学生10人と大人10人が参加し、それぞれ2組に別れて競争がスタート。接戦が繰り広げられ、各組の1位には新得そばの詰め合わせが贈られました。松坂さんの演歌ショーでは、観客が歌に合わせて踊る場面もあり、一緒に盛り上がりました。onちゃんのおはよう体操では、子どもから大人まで50人以上がステージ前に集まり、盛り上がりを見せていました。

話題のアルバム

利用者に手話の歌を披露

にこにこクラブがやすらぎ荘を慰問

町社会福祉協議会の高齢者サークル「にこにこクラブ」(小関アツ子会長)の会員20人とボランティア10人がやすらぎ荘(高畑訓子施設長)を訪れ、利用者50人を前に手話の歌を披露しました。

同サークルでは、毎月3回練習を重ね、「みかんの花咲く丘」、「花かげ」、「星影のワルツ」、「ふるさと」の4曲を披露し、「ふるさと」では、利用者と一緒に手話を行いました。

利用者は知っている歌となると一緒に楽しそうに手話を行っており、最後の歌が終わると笑顔でサークルの会員らと握手をしていました。



2年ぶりのコンサートに多くの観客

あさみちゆきコンサート

あさみちゆきコンサートが10月20日、屈足総合会館で開かれ、約100人の観客が集まりました。

コンサートでは、デビューのきっかけとなった「港のカラス」や今年誕生日の人たちに向けての「娘から愛を込めて」などオリジナル曲を含めて十数曲を熱唱。2年前に作ると約束していた「新得町の歌」を歌うと会場は一層の盛り上がりを見せていました。

あさみさんは「新得町のみなさんに少しでもパワーを届けられるように歌う」と話し、観客は掛け声をかけたりと一緒に盛り上がり、十分にパワーをもらったようでした。

指示を守って迅速に避難

新得保育所総合避難訓練

新得保育所総合避難訓練が10月12日、同所で行われ、出火から通報、避難指示・誘導までの流れを確認しました。

今回の避難訓練は、給食室から出火したと想定し、園児は防火頭巾をかぶり、ハンカチをしっかりと口に当て、先生の指示に従って迅速に避難を行いました。年長(ぞう組)は防火服を着て放水体験も行ったほか、年少～年長までは煙が充満した部屋を歩く体験も行い、視界の悪さや歩きにくさを体感しました。また、消防車の試乗体験も行われ、搭載されている道具に興味津々でした。

訓練後には、消防署の児玉亮司令補への質問タイムが設けられ、年長の3人からはしご車や消火、消防職員の数について質問があり、児玉さんは一つひとつの質問に丁寧に答えていました。

最後に、女性消防団員から、紙芝居「みんなのひなんくんれん」の読み聞かせが行われ、避難訓練は終了となりました。



防火服を着て放水体験



煙体験の様子



親子・友だちと一緒に楽しむひと時

育児の日フェスティバル

親子のふれあいを深め、友だちと体験活動などを通じて楽しい時を過ごしてもらおうと「育児の日フェスティバル」が10月15日、子どもセンターなかよしで開催され、親子連れなど170人が参加しました。今年で5回目の開催で、今回は、帯広大谷短期大学の人形劇サークル「ありんこ」による人形劇と手遊びが行われたほか、マグネット小物作りや輪投げ、くじ引きなども行われました。参加者は、親子や友達らと楽しいひと時を過ごしました。

セリフに頼らない人形劇

デフ・パペットシアター・ひとみがやすらぎ荘を慰問
人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」のメンバー7人がやすらぎ荘（高畑訓子施設長）を訪れ、人形劇「一寸法師」を披露。同施設の利用者のほか、養護老人ホームひまわり荘の利用者も駆けつけ、約80人が人形劇を楽しみました。

聞こえる人と聞こえない人が一緒に作り上げる人形劇は楽器や歌、手話を駆使して行われ、音楽や演出に合わせてこころ変わる表情に、利用者らは時折笑い声をあげながら見ており、独特な人形劇の世界に引き込まれていました。



3年生のラストステージ

新得中学校吹奏楽部定期演奏会



新得中学校吹奏楽部（倉科美歩部長、部員36名）が10月15日、町公民館大ホールで定期演奏会を開催しました。

今回の演奏会が3年生にとっては最後の演奏会。3部構成で「マーチ・スカイブルー・ドリーム」から始まり、2部では踊りながら演奏するスタイルの「ダンプレ」を披露。3年生の最後のステージに聴衆は惜しめない拍手を送っていました。

話題のアルバム

まちの出来事をピックアップ



自分に必要な色は？

カラーでストレスケア

2016 子育て講演会「カラーでストレスケア」が10月3日、子どもセンターなかよしで開催され、子育て中の母親10人が参加しました。

講師には、カラーコーディネーター・オフィスアイリーの伊藤郁子さんを迎え、自分の好きな色や気になる色が指す意味や日常での色の活用法などを学びました。

参加者は、メモをするなど熱心に講演を聞いており、生活に役立てようとしているようでした。

「色を意識すると日常生活が広がる。選んだ色を意識して自分の気持ちを考えながら毎日を過ごしてもらいたい」と伊藤さんは話していました。

リラックスした時間を過ごそう

ほっと一息 お母さんのものづくり講座

町内の子育て中の母親を対象としたほっと一息お母さんのものづくり講座「アロマワックスバーをつくらう」（全町教育地域協議会主催）が共働学舎カリンパニで行われ、母親9人が参加しました。

好みのドライフラワーやアロマをロウソクなどで固めて作るアロマワックスバーを手作りしながらちよとしたお茶やおやつを楽しみ、リラックスした時間を過ごしてもらおうと企画されたもので、その狙いどおり、母親らは会話を楽しみながら自由に作品を作り、お茶を飲みながら十分にリラックスした時間を過ごせたようでした。



楽しい絵本の世界に釘付け

絵本作家 とよた かずひこ 講演会

「バルボンさんのおでかけ」などの「ワニのバルボン」シリーズや「ゆーらり ももんちゃん」などの「ももんちゃんあそぼう」シリーズでお馴染みの絵本作家とよたかずひこさんが10月8日、保健福祉センターなごみで講演会を行い、親子連れなど約100人が来場しました。

絵本パフォーマーとして活躍している岸田典大さんも、とよたさんが来ることを知り、千歳市から駆けつけました。お二人の共演は初めてで、とよたさんの絵本を岸田さんがリズムに乗せ朗読すると、子供らは、目を輝かせながら絵本の世界に引き込まれていました。

ドキドキだけど楽しい 馬とのふれあい

新得保育所で馬とのふれあい体験

町内在住の北越暁さんが所有しているポニー「ワック（4歳、オス）」と10月25日に新得保育所を訪れ、年長組の園児15人を対象に乗馬体験を行いました。

北越さんは昨年「子供達に本物の馬を見て触れあって欲しい」と企画し、今年で2回目の実施。昨年は、園児に引き綱を引いてもらうだけでしたが、今年は北越さんが引いた馬に乗ってもらい、乗馬しているところを撮影した写真とともに後日、乗馬記念証を園児に渡す予定とのこと。北越さんは「去年と違うことをしないとね」と笑顔で話していました。園児らは緊張しながらも馬とのふれあいを楽しんでいました。



郷土の歴史を
新得町郷土研究会が
ご紹介しませう
一緒に
歴史の散歩に
出かけましょう

しんとく
しん歩
しん散

No.14

新得小学校林地

新得町内で医院を開業していた仲田市太郎は、地域子孫百年後の隆盛を祈願して大正13(1924)年3月、字新得西4線50番地の造林地5畝を新得小学校の学校林として町に寄贈しました。

その後、この学校林を含む広内地区は、町が誘致した北海道農業試験場畜産部(現道立総合研究機構畜産試験場)の用地になるため、代替え地として北新内の町有林が充てられました。

ここに紹介する新得小学校林地の碑は、学校林が移転したことを後世に伝えていくため昭和56(1981)年10月4日、仲田市太郎の遺族の寄付を受けて新得町が現在地に建立しました。

仲田市太郎は千葉県出身の医師で、大正8(1919)年に新得町で仲田医院を開業しました。診療の傍ら、新得の山林が伐採され



新得小学校林地 (2009.9.17 撮影)

ていることを憂い、私費を投じて土地を購入し、カラマツの苗木を育て植樹に励みました。小中学校神社、寺院などには苗木や植樹林を寄贈し、広く木の大切さや植樹の必要性を説いたといえます。

当時町内には、豊富な森林資源があるため、植林はあまり顧みられることはありませんでした。こうした中で仲田医師の植林は、新得町の植林事業の先駆けになると共に、林業振興に大きな功績を残すものでした。

石碑の裏には、仲田医師が林地を寄贈するに当たってその活用法の希望を記した「造林地寄附一関スル希望」の文章が原文のまま模写されています。

その後平成19(2007)年に、仲田医師の遺族が、石碑を近くから見られるようにと階段を設置しました。

町長室から
こんにちは

新得町長 浜田正利

最近の話題から期待する事と不安な事を二点お知らせします。

一点目は、昭和63年6月に「そば焼酎」がきっかけで姉妹町盟約を結んだ宮崎県五ヶ瀬町の町制施行60周年事業が10月15日に行われ出席してきました。盟約締結後、小中学生の相互交流を中心に人的交流が進められてきましたが、今回、当時の子供たちが五ヶ瀬町に残り、まちづくりに頑張っている方、五ヶ瀬町職員の方に新得町に来たことがある方などと、お話をする機会に恵まれました。初めてお会いした方もおりましたが、全員が昔からの知り合いのような感じで、不思議な雰囲気を感じてきました。また、前日の夕方に五ヶ瀬町役場に到着した際に、五ヶ瀬中学校生徒会、社会福祉協議会、議会議員互助会、職員互助会から台風被害に對してのお見舞いをいただきました。五ヶ瀬町民の温かい心遣いに心からお礼を述べてきました。北と南の小さな自治体ですが、これからも交流を続けながら自然な心遣いが互いに来るよ



う、期待をしています。

二点目は、J R北海道の鉄路のことです。新聞報道では「単独では維持困難な線区」を公表し、地域とともに鉄路をどうしていくのかを協議をする予定といわれています。これまでに留萌線の一部、夕張・新夕張間、日高線など具体的な動きが出てきていますが、最近では新得・富良野間についても報道されています。町長として、鉄路の在り方を沿線自治体だけで協議を進めても解決できないので、北海道全体の公共交通はどうあるべきかをきちんと整理し、北海道として対応すべきと発言してきました。新得町は、明治40年に鉄道が開通以来、「鉄道の町」として歩んできたと自負していますが、今後の動向に不安を感じています。また、口答ではありますが、J R石勝線の復旧については、遅くとも12月20日までは開通するよう要望しています。

台風10号の被害から2ヵ月が過ぎましたが、これまでに、安倍総理を初め関係大臣などの政府関係者、中川代議士を始め各政党関係者、高橋北海道知事など大変多くの皆さんが被災地である十勝地方並びに新得町に視察にお越しただくとともに復旧・復興について、地元の見解を聞いていただきました。新得町においては国・北海道のスピード感のある対応をいただいたと感じている一方、今後の対応にあたって不透明な部分も多くあり、歯がゆさもあります。これからも前に進むための大きな力になっていただけると考えておりますし、行政としてもこれまで同様に力を入れていきます。

広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく9月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼災害時の情報伝達で最も早く情報量が多かったのが、SNS(私の場合Facebook)でした。しかし、間違った情報が流れることもあり、人から人への情報伝達は確実とは言えません。重要な情報はホームページや給水所で役場の方から伺いました。確かに掲示板は見づらく見落としもありましたが、緊急時のことでしたし表記などに問題があったとも思いません。日頃から確実に情報を入手するために様々な経路を確保するのも「自助」だと思います。

▼町の台所事情では、一般家庭の家計簿に置き換えられており、とてもわかりやすかったです。家庭と税は必ずしもイコールではないにしろ「自分たちで用意したお金」よりも「親からの援助」が多く黒字とは言え考え直すところだと思います。新得町の基盤を強固にするためにも、自分たちの足で立つ意識を町民一人ひとりが意識していければと思います。また、細かいデータを要点を絞って解説しており、とても読みやすかったです。直接関わるものがなくとも、このような形で町の状況を把握できるのは素晴らしいと思います。

短歌

新得短歌会

- 寒露過ぎ夜空彩る散声に
復興花火力宿りて
小野 恭子
- 二十七八紅葉の錦を背景に
アルバム写真優倅の一片
樋口 かつり
- 神鳴の音ひびき来る晩秋の
庭の黄葉はさもなく散りぬ
奇藤美代子
- なかなかに見られぬ歌舞伎の縁もて
心奮ひて海老蔵氏を親む
小野 洋子
- 菊競い共演見らる雪近き
季を迎えて吾れ老いてたり
小関 白潮
- 踊る雲澄む空時雨虹そびえ
走る足止め希望を託す
岡田御狸裸
- 時くらば当然のように萩だれの
濁流の跡見つめばかりに
中井由利子
- 旅枕なじみの毛氈が恋しくて
同じ模様を描を採しつ
樋口 智一

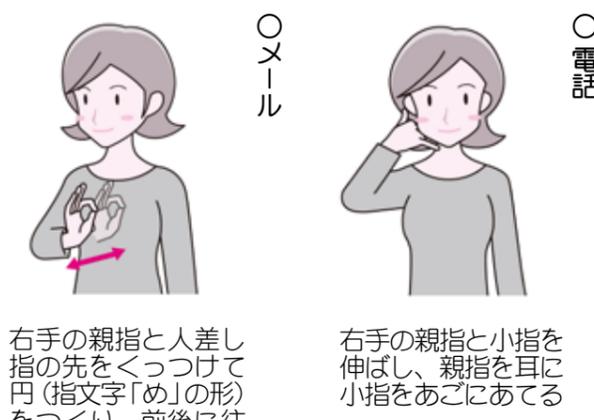
俳句

新得俳句同好会

- 逝く友に黄菊一輪手向けけり
片桐 波月
- 気が付けば虫の音聞かず秋いかな
月井 愁峰
- 秋祭り天狗の鼻もふと折れる
高橋 民女
- 工事場のクレインの高し秋の空
八木 育子
- さまざまな足音弾く草もみじ
大崎かずお
- 徒然の友去り淋し萩の花
奇藤 青苔
- 秋深し老いのステック米寿まで
渡辺アヤ子
- エゴマ刈る高山にはや雪被る
袴田ゆき男
- 秋夕統一抜け二抜け鬼帰る
中島 土方

ひびくと手話講座

～No.27～



○メール
右手の親指と人差し指の先をくっつけて円(指文字「め」の形)をつくり、前後に往復させる

○電話
右手の親指と小指を伸ばし、親指を耳に小指をあごにあてる

▼災害といった緊急事態になると地域差が浮き彫りになると感じます。ボランティアや広報など、新得町は全体に対する個々の働きかけがとて早く、少人数の町ならではのフットワークの軽さを感じました。

▼寄付金・義援金の総額に驚きました。新得町もまた支え、支えられていると感じました。

▼表紙の写真がすごく良い写真でした。ただ、中身の構成はあまりにも淡々としていて、鼓舞が感じられずなんとなく残念でした。

戸籍の窓口

(敬称略)

おくやみ

- 高野 正市 (92) 10/9 2 5 区
- 遠藤 ハルエ (85) 10/10 永 交 会
- 合田 松太良 (101) 10/15 一心の 1 会
- 池田 ウメイ (94) 10/20 新生の 2 会

善意のこころ

(敬称略)

家族が生前お世話になったお礼に

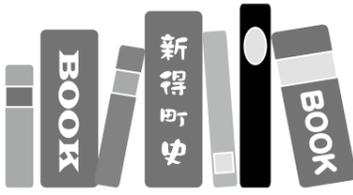
- 遠藤昭助 (永交会) 福祉振興用に1万円
- 須甲豊子 (32区) 社会福祉協議会に5万円

町や町の施設に

- 伊藤瑞姫 (緑栄会) 屈足保育園にぬいぐるみ9個
- 青木繁明 (京都市) 新得幼稚園にポスターカレンダー 110枚
- 廣瀬洋品店 廣瀬顯嗣 (平和会) 公民館用にハンガー 150本、ハンガーラック 2台
- 桂木 繁 (恵庭市) 郷土資料として草わら切機 1台
- 西川 健 (共栄会) 郷土資料として灯油ランプ 1台



注目の一冊



図書館だより

詳しい情報などは町ホームページの図書館コーナーをご覧ください。

「氷の轍」

北海道釧路市の千代ノ浦海岸で男性の他殺死体が発見された。被害者は札幌市の元タクシー乗務員滝川信夫、八十歳。北海道警釧路方面本部刑事第一課の大門真由は、滝川の自宅で北原白秋の詩集『白金の独楽』を発見する。滝川は青森市出身。八戸市の歓楽街で働いた後、札幌に移住した。生涯独身で、身寄りもなかったという。真由は、最後の最後に「ひとり」が苦しく心細くなった滝川の継ろうとした縁を、わずかな糸から紐解いてゆく。ロングセラー文庫『凍原 北海道警釧路方面本部刑事第一課・松崎比呂』以来となる、北海道警釧路方面本部の女性刑事を主人公とした長編ミステリー！

桜木 紫乃

新着図書

- ・人生はワンモアチャンス! (水野敬也)
- ・探検家40歳の事情 (角幡唯介)
- ・楽しい介護レクリエーション (富永雅美)
- ・土砂災害と防災教育(檜垣大助)
- ・野に咲く花便帳 (稲垣栄洋)
- ・つくって楽しむわらわぎ (瀧本広子)
- ・季節の暮らしと服支度 (内田彩仍)
- ・理系パパ (高世えり子)
- ・ミニマリストの部屋づくり (おふみ)

- ・森高千里の暮らしのレッスン (森高千里)
- ・最後の将軍 (朝井まかて)
- ・ストロベリーライフ 萩原 浩
- ・黒い紙 (堂場瞬一)
- ・まことの華姫 (富中 恵)
- ・なんでわざわざ中年体育 (角田光代)
- 児童書
- ・サバンのいちにち(斉藤 洋)
- ・しゅくだいとびばこ(福田岩緒)
- ・もっあかん! (岡田よしただ)
- ・ぐずりっこフンガくん (国松エリカ)
- ・パンダなりきりたいそう (いりやまさと)



11月3日に開催された町民芸能芸術祭で持ち歌を披露する赤池さん

顔のふりそと

亡夫を思い出すと
絵を描けなくなるけど
もう少し落ち着いたら
大好きな絵を描きたい

No.413

「小さな頃から絵を描くことや歌うことが好きで、屈足カラオケ愛好会の事務局を35年間務め、今月、町文化芸術賞を受賞した。「主人も歌が好きだね。一緒に大会に出て受かるのはいつも主人だけ。私は落ちちゃった」とクスクスと笑いながら話してくれたのは赤池範子さん。赤池さんは、屈足で農業を営む家庭に生まれ6人きょうだいの5番目として育った。小学生の時樺太で両親が亡くなり引き上げてきた母方の3人のいとこと生活を共にした。「自分の6人のきょうだいと3人のいとこ。家に9人の子供がいて、どこからどこまでが自分の兄弟姉妹なのかわからないような感じでした」その後、一緒に暮らしたいとこのお姉さんが学校の教員になり、その1年後に実の兄も学校の教員になった。そして、2人とも赤池さんが通う屈足小学校の先生として着任してきた。「母からは『範ちゃん、ちよつとおいで。学校に行ったら、とみちゃん(いとこのお姉さん)や兄さんって呼ぶんじゃないよ。先生って呼ぶん



赤池 範子 (76歳) 朝日の1会

だよ」と毎日言われてました。朝は、その二人の先生に遅刻するよって引きずられながら登校してました」と笑いながら話した。新得高校屈足分校を卒業後、帯広市第三中学校の代員教員として勤務しながら、夜間に市内の編み物学校に通い、編み物の教員資格を取得。その後、通っていた編み物学校の教員として働いた。昭和38年に友人の紹介で知り合った帯広市で自衛官として勤務していた武臣さんと結婚し、一男に恵まれた。昭和39年、屈足にガソリンスタンドが開業する際に、危険物取扱者などの資格を持っている人を探していた。屈足出身の人を嫁にして、必要な資格も持っている人がいるということ、武臣さんに声が掛かり、屈足に引っ越すことになった。そんなある日、武臣さんから「おい。スナックをやるぞ」と突然言われた。当時、自宅の近くには拓殖鉄道が走っていて、人通りも多く賑わっていた。「えっ？ スナックって何？って思ったわよ。喫茶店は行ったことあったけど、

スナックなんて行ったこともなかったし」と赤池さんは話す。そして、武臣さんはガソリンスタンドを辞め、「スナック山びこ」をオープンし、夕方は高校生も入店できる喫茶店、午後7時以降はスナック営業を行った。赤池さん自身は、昼間は約30名、夜間は約20名の生徒が通う編み物学校の分校も開校していた。「主人と一緒にスナックを初めた頃は、息子以外の人が、『ママ』と呼ばれることに戸惑いましたよ。でもね、若い人の出会いの場にもなってるね、そこで知り合って結婚した人も結構いるのよ」と嬉しそうに話す。武臣さんが平成21年に亡くなった7年余りが過ぎた。そんなご主人に生前にお願いしたことがあった。「これからの人生で一つだけやりたいことがある。絵を習いに行きたい。と主人に言ったら、『つつける』という4つの言葉を守れるならと、通わせてくれました。そのおかげで新道展と平原社展で入選もさせていただきました。絵に関しては素人だったけど、アドバイスをくれた主人が亡くなってからは、絵を描く気力が湧かなくてと寂しそうに話した。2人の孫たちと食事に行くのが一番の楽しみと話す赤池さん。「孫2人とも結婚して、ひ孫を抱くことができたなら、主人に報告したいな」と微笑みながら話した。

特別養護老人ホーム「ひろね」
職員募集 平成29年4月採用予定
募集：介護職・事務職・看護師・栄養士
(正規職員・契約職員) ※資格保有者優遇
給与：12.8万円～20万(正職員)
手当：別途あり。契約職員は、勤務状況による。
問合せ：新得町西2条南3丁目 社会福祉法人設立準備室
電話：67-7200 E-mail: hoshin@tiara.ocn.ne.jp

クリスマスディナーへのお誘い
12月23・24・25日夜 一人7,000円+税
ピアノの生演奏を予定
(11月中のご予約はプレゼント付)
忘年会・新年会、その他ご予約お受けしています。
高台のレストラン
La motrice (ラ・モトリス) 0156-64-2222
HPアドレス: <http://la-motrice.com>



12月のカレンダー



昨年の親子ふれあいもちつきの様子

12月の納期限は 町・道民税第4期、
国民健康保険税第6期、後期高齢者医療保険料普通徴収第6期、
介護保険料普通徴収第6期納期限
26日まで

1 ㊟	健康相談 (屈足) 10:00	11 ㊟	親子ふれあいもちつき大会 (公民館) 10:00	21 ㊟	新得・屈足合同わすれん塾 (公民館) 9:00 健康相談・栄養相談 (なごみ) 10:00 移動図書館車かりかち号運行
2 ㊟	バランス体操教室 (屈足総合会館) 13:30	12 ㊟		22 ㊟	健康相談 (屈足) 10:00 移動図書館車かりかち号運行
3 ㊟		13 ㊟	屈足わすれん塾 (らら) 9:00 転ばん塾 (公民館) 13:30	23 ㊟	新得山スキー場オープン (予定) 【天皇誕生日】
4 ㊟	第31回町民バドミントン大会 (町民体育館) 9:00	14 ㊟	新得わすれん塾 (なごみ) 9:00 健康相談・栄養相談 (なごみ) 10:00 人形劇一座/パセリ座公演 (図書館) 15:15	24 ㊟	クリスマス子ども映画会 (図書館) 14:00
5 ㊟		15 ㊟	健康相談 (屈足) 10:00	25 ㊟	
6 ㊟	介護・ものわすれ相談 (なごみ) 9:00 1歳6ヶ月健診 (なごみ) 転ばん塾 (公民館) 13:30	16 ㊟	バランス体操教室 (屈足総合会館) 13:30	26 ㊟	
7 ㊟	新得・屈足合同わすれん塾 (公民館) 9:00 健康相談・栄養相談 (なごみ) 10:00	17 ㊟	土曜おはなし会 (図書館) 14:30	27 ㊟	
8 ㊟	健康相談 (屈足) 10:00 寿教室 (公民館) 10:00 移動図書館車かりかち号運行	18 ㊟		28 ㊟	健康相談・栄養相談 (なごみ) 10:00
9 ㊟	バランス体操教室 (屈足総合会館) 13:30 移動図書館車かりかち号運行	19 ㊟	育児の日	29 ㊟	健康相談 (屈足) 10:00
10 ㊟		20 ㊟	乳幼児健診 (なごみ) 転ばん塾 (公民館) 13:30	30 ㊟	
				31 ㊟	

すくすく赤ちゃん



そや ようた
曾屋 陽太くん
平成 28 年 4 月 5 日生まれ
パパ 雄大 ママ 桃子
東進会



のざき りい
野崎 莉生ちゃん
平成 28 年 4 月 9 日生まれ
パパ 敬太 ママ 早織
西栄会



やまぶき ふみか
山吹 史香ちゃん
平成 28 年 4 月 10 日生まれ
パパ 健太 ママ マユミ
西栄会



ながの めいな
永野 芽奈ちゃん
平成 28 年 4 月 14 日生まれ
パパ 健児 ママ 美恵子
新進会